



作物の収穫時期を予測することは、適期収穫につながる。とともに、出荷や収穫作業の計画を立てやすくなり、規格外品率を下げ商品収量を増やすなど生産性の向上につながります。そこで、年内取りレタスについて、目標とする収穫時期を予測するための計算ファイルを作成しました。

この計算ファイルを使うと、農研機構のメッシュ農業気象データの当該地点の日平均気温積算値から、収穫時期の指標となる玉径と調整重を予測できます。気象データに加えて、空撮用ドローンで撮影した株の面積情報を入力することで、予測精度が高まります。

計算ファイルはエクセルの複数ワークシートからなり、ソフトをインストールしたパソコンで予測が可能です。計算ファイルを使用する際に

積算温度と株面積による年内どりレタスの収穫予測

エクセル入力で算出 作業計画立てやすく

は、目標の玉径や調整重、栽培地域の温度や定植日などのデータが必要で、この収穫予測の概要を図に示しました。年内取りレタスの収穫予測や計算ファイルについての詳

細は、干拓営農研究室までお問い合わせください。
 (長崎県農林技術開発センター 畑作営農研究部門 干拓営農研究室 主任研究員 尾崎祐未)

図 年内どりレタス収穫予測のフローチャート

